

No.80

2011 11



広報さつま

人々が織りなす

元気で快適な

活力あるまち

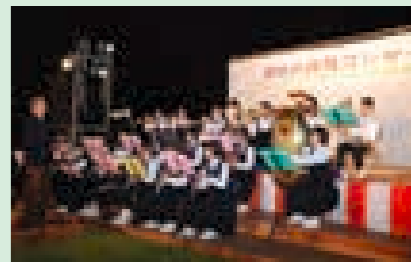
秋の夜に
奏者も映える
月明かり



- 2 鶴田ダム再開発事業
工事に本格着工
- 4 開催中 ふるさと元気座談会
- 6 まちの家計簿
～財政事情の公表～
- 8 水道事業の上半期執行状況
新規認定農業者の紹介
町小学校陸上記録会
- 10 第4回町民体育祭
子ども手当が変わります
- 12 まちのニュース
- 16 町長マニフェスト報告
- 18 暮らしの情報
- 21 がんばれ認定農業者
- 22 がんばれ！スポーツ少年団
- 23 誕生・おくやみ
1歳で～す
- 24 人・夢
休日在宅医・薬局

■表紙の写真説明

秋夜の下で音楽祭
第25回お月見コンサート



10月8日、北薩広域公園で「第25回お月見コンサート」（主催 みやんじょチクリン村）が開催され、秋の夜空の下で音楽祭を楽しもうと、多くの来場者で賑わいました。
コンサートには、盈進小学校、鶴田中学校、薩摩中央高校、くまきちバンド、宮之城中学校、BM宮之城、宮之城吹奏楽団の7団体が出演し、日頃の練習の成果を披露しました。中でも、5団体の約150人による合同演奏では、「マル・マル・モリ・モリ」など2曲が披露され、息のあった迫力ある見事な演奏に聞き入っていました。

鶴田ダム再開発事業 工事に本格着工

平成18年7月の記録的な豪雨により甚大な被害を受けた「鹿児島県北部豪雨災害」後に、川内川流域の洪水被害軽減を目的とした、激甚災害対策特別緊急事業（通称「激特事業」）が同年度から、鶴田ダム再開発事業が平成19年度から着手されています。

激特事業は一部を残してほぼ完成していますが、鶴田ダム再開発事業は、平成27年度の完了を目指し、工事に着手しています。

今回は、鶴田ダム再開発事業の概要についてお知らせします。

■鶴田ダム再開発事業 イメージパース図



※現時点での完成イメージであり、実際とは異なる場合があります

■鶴田ダム再開発事業工事状況（平成23年9月22日撮影）



激特事業に引き続き 鶴田ダム再開発事業も ご協力をお願いします

激特事業は本年度までの事業として進められていますが、鶴田ダム再開発事業と激特事業は車の両輪の関係にあり、両方が完了して初めて、平成18年7月豪雨相当の洪水に対して、町民の皆様の安全安心が確保されることとなります。

今回の再開発事業は、洪水調節や発電などの通常のダム運用を行いながら工事を行うという高度な技術が求められるもので、九州では初めて、国内でも珍しい工事になります。中でも、仮締切を設置する際は、潜水士による最大水深約60mでの水中施工が必要になり、水深30m以上の作業の効率化と作業員の安全のために「飽和潜水」という方式による施工が行われます。

また、全国に先駆けて今ある施設を最大限に活用することは、とても意味深い



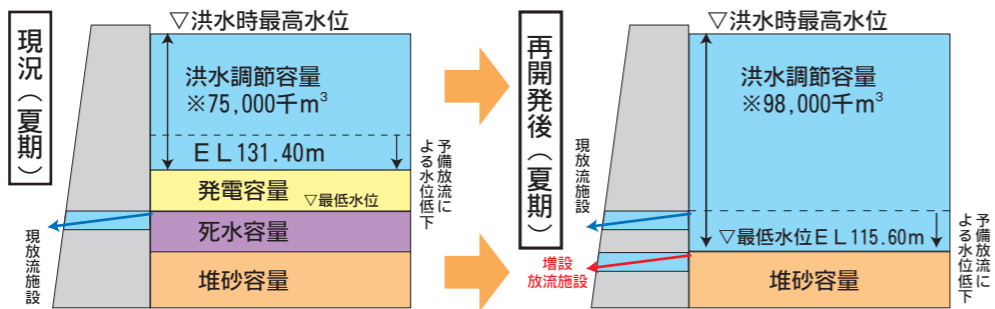
国土交通省 九州地方整備局
川内川河川事務所
所長 久保朝雄さん

ものだと思えます。国内でも珍しい工事ということで、事業完了までの期間中には町民の皆様にも見学していただく機会を設けたいと思っています。

工事そのものだけでなく、事業がさつま町の振興に少しでも寄与できればと考えています。

期間中は、工事車両の通行や騒音・振動などご迷惑をお掛けするかもしれませんが、安全第一で取り組みまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

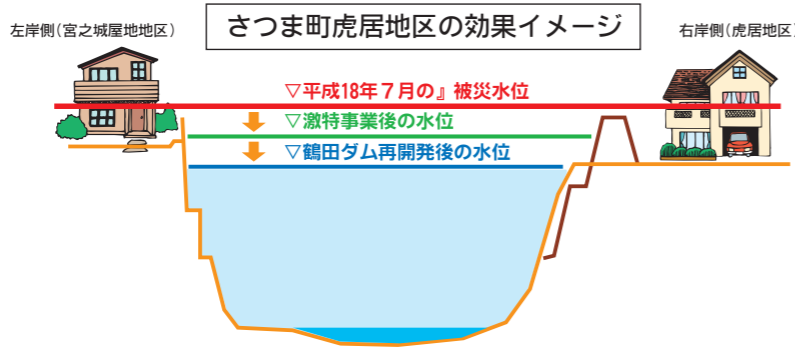
●事業の目的



■夏場の洪水調節容量を最大9,800万m³（1.3倍）に増量
■低い貯水位でも放流できるように新たに放流管を増設

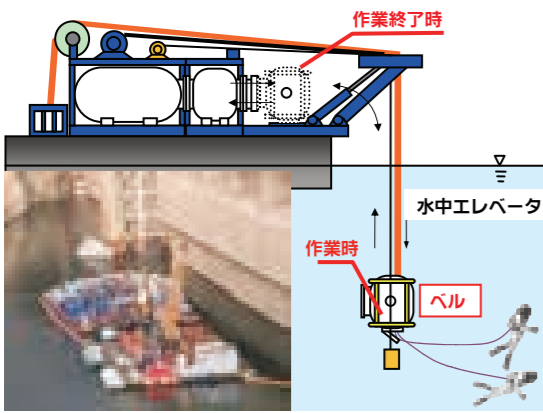
●事業の効果イメージ

激特事業と相まって、鶴田ダム下流の洪水水位を低下させます。



■お問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局
川内川河川事務所
Tel 0996 (22) 3271
・激特事業に関すること ↓ 工務課
・鶴田ダム再開発事業工事に関すること ↓ 工事課



飽和潜水状況（他ダム事例）

※潜水技術『飽和潜水』とは？
深海の水深に体をさらしつつ、大深度への潜水を実現するための技術で、作業期間中ダイバー（潜水士）を作業水深と同じ気圧の居住空間で約1か月間生活させて作業を行う潜水方式



放流管設置のための提体削孔作業状況（他ダム例）



開催中!

ふるさと元気座談会

7月15日の永野区での開催を皮切りに「ふるさと元気座談会」を実施しています。

今年度の座談会は、主に行政側から特に町政推進に
関し重要な次の3つのテーマについて説明を行い、年
度内には全20区公民館で行う予定です。

11月号では、8月9日に行われた中津川区から、10
月7日に行われた求名区の7つの座談会で出された主
な意見の項目について紹介します。

新庁舎建設事業（庁舎建設推進室）
地域交通対策（企画課）
町立学校適正化計画（案）（教育委員会総務課）



泊野区 8月30日（火）

泊野地区の簡易水道布設
について
防災無線（屋外）の増設
について
真空パック機器の購入要
望について
地域交通対策について

■柏原区
8月26日（金）

企業誘致対策について
川内川の堤防未着工箇所
及び町道の補修について
正月・5月連休の燃える
ゴミの回収について
学校の適正化計画（案）
について
河川堤防工事箇所の草払
いについて
夜星川の河川堤防整備に
ついて
子どもの数を増やす対策
について



中津川区 8月9日（火）

学校の適正化計画（案）
について



白男川区 8月24日（水）

学校の適正化計画（案）
について
巡回バスの創設について
道路拡幅について
地域公共交通対策について
区公民館の運営について



久富木区 8月18日（木）

高齢者福祉のためのサロン
室設置要望について
地区公民館とさつま町との
協働について
空き家対策の状況について
久富木川堤防の葦払いにつ
いて
県道405号久富木蘭牟田
線の改良について
新庁舎建設について
地域公共交通対策について
学校の適正化計画（案）に
ついて
今後の町の振興策について



佐志区 8月31日（水）

佐志ニュータウン住民の
小学校通学について
町道・国道の危険箇所の
対策等について
町道「佐志中央線」の道
路改良について
地域交通対策について
学校の適正化計画（案）
について
新庁舎建設事業について

求名区 10月7日（金）

学校の適正化計画（案）
について
新庁舎建設計画について
支所機能及び図書館の活
用状況について
道路改良工事の早期着工
と有害鳥獣対策について



座談会に行こう！ 11月に実施予定の座談会日程

- 鶴田区 11月11日（金）午後6時30分
- 鶴田コミュニティセンター
- 二渡区 11月12日（土）午後6時30分
- 二渡清流館
- 時吉区 11月14日（月）午後6時
- ほたる館
- 山崎区 11月16日（水）午後6時30分
- 山崎地区公民館
- 神子区 11月22日（火）午後6時30分
- 神子コミュニティセンター
- 虎居区 11月24日（木）午後6時30分
- 虎居地区公民館

紫尾区音響設備と区公 民館貸し出し用テント を整備

コミュニティ助成事業 （宝くじ助成事業）

このコミュニティ助成事業
は、宝くじの助成金で整備さ
れるものです。平成23年度は
紫尾区が様々な地域行事で活
用される音響設備と、町から
区公民館へ貸出し用としてテ
ントが10張り整備されました。
今回の整備により、公民館
交流を主体とした各活動がよ
り活性化されることが期待さ
れます。



紫尾小学校・紫尾区合同運動会で使用された音響設備



町民体育祭で使用されたテント

平成22年度決算の概要（地方財政状況調査：速報値）

●財政指数が大きく好転しました

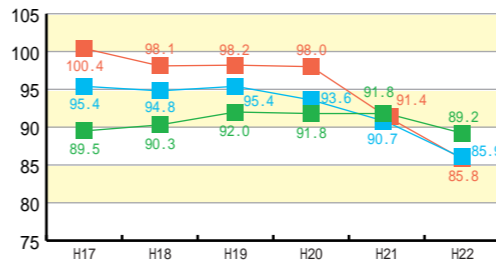
平成19年度決算から公表することとなった健全化判断比率や、地方財政状況調査による主な財政指標は次の表の通りです。
 経常収支比率や将来負担比率など、順調に改善されています。また、実質公債費比率についても、地方債の協議基準（許可制との境界線）を大きく下回る16.6%まで改善しました。

今後も引き続き「公債費適正化計画」に沿った取り組みを継続することにより、財政の健全化に向けた取り組みを進めてまいります。

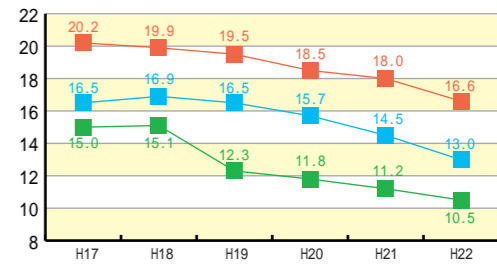
【さつま町の健全化判断比率】

区分	比率等	鹿児島県	全国
経常収支比率	85.8	85.9	89.2
実質公債費比率(単年度)	15.1	-	-
実質公債費比率(3年平均)	16.6	13.0	10.5
将来負担比率	50.7	69.1	79.7
実質赤字比率	全会計で黒字	-	-
連結実質赤字比率	全会計で黒字	-	-

経常収支比率の推移



実質公債費比率の推移



●経常収支比率が大きく改善

財政の弾力性を表す指標で、決まって支出しなければならぬ経費の割合を示しています。比率が高いほど、財政が硬直化しており、自由に使えるお金が無状態を示しています。従来、70～80%程度が望ましいと言われていましたが、近年は三位一体の改革の影響で、全国市町村の平均が90%程度で推移しています。本町は合併当初100%を超えていましたが、県平均並みの85.8%まで改善しました。今後も行革等に積極的に取り組み、更なる改善に努力してまいります。

●将来負担比率も更に改善

地方債残高が減り貯金が増えました

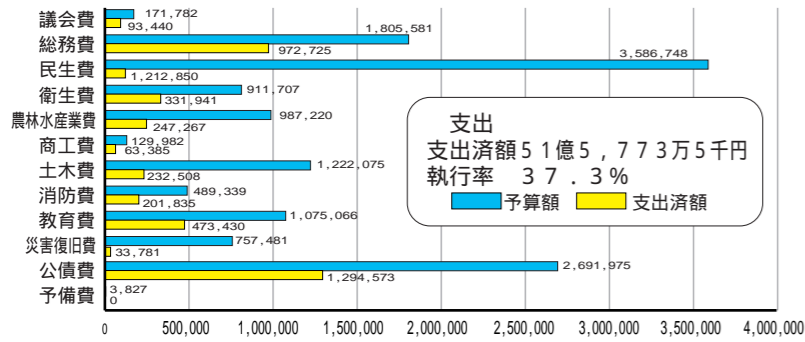
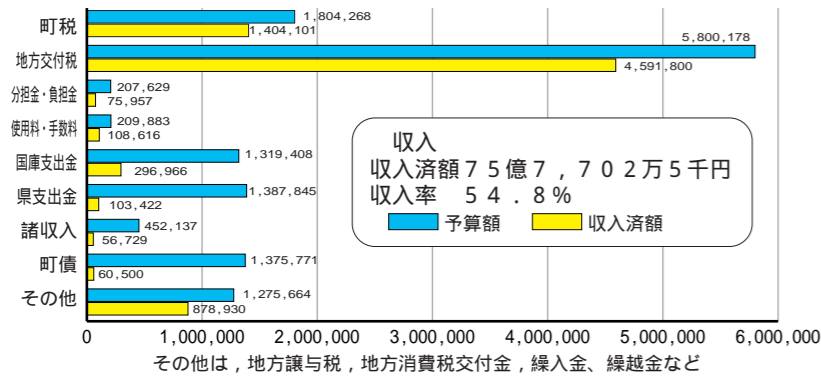
将来に渡ってさつま町が負担すべき経費の割合を示す「将来負担比率」も昨年に引き続き大きく改善しています。これは、人件費や公債費（借入返済金）の削減が計画通り進んでいること、基金（貯金）残高が順調に増えていることなどが要因となっています。なお、基金残高の大幅な増額は財政調整基金と庁舎建設基金等の増額によるものです。

●上半期の一般会計予算執行状況

予算総額138億3,278万3千円

上半期（9月末）の執行状況は収入額が75億7,702万円（収入率54.8%）、支出額が51億5,773万5千円（執行率37.3%）となっています。歳入については、国からの地方交付税の収入が上半期に多くなる反面、国・県支出金や町債（借入金）については、補助事業等の関連から下半期に多くなる傾向にあります。また歳出についても、災害復旧事業や災害関連経費を含め、建設工事や補助事業等が完成払いとなるため、下半期に多く支出されます。

平成23年度上半期の予算執行状況（平成23年4月1日～9月30日）



- ・災害復旧事業費（道路橋りょう河川、林道施設、農地農業用施設）...7億4,008万2千円
- ・介護保険対策事務費（グループホーム整備補助等）...2,315万1千円
- ・観音滝公園管理費（温泉ポンプ機具修理・取替等）...1,098万円
- ・農業・農村活性化推進施設等整備事業費（水路整備工事等）...1,000万3千円
- ・一般老人対策費（ほのぼの苑の施設整備費補助等）...1,000万円
- ・無線システム普及支援事業費（岩元テレビ共同受信組合）...739万5千円
- ・東日本大震災救助費（被災避難者生活支援費）...700万円
- ・耕作放棄地解消推進事業費（耕作放棄地解消推進事業補助）...700万円

●補正予算の主な内容

10億4,678万3千円を追加

6月から7月にかけて発生した豪雨による農地や道路等の災害に対応するため、災害復旧事業費7億4,008万2千円など緊急的対応が必要とされる事業や、国・県などの事業採択に伴う新たな事業等への取り組みなど各種事業について予算計上を行いました。
 主な事業の補正予算額は次の通りです。

●特別会計予算の執行状況

特別会計	予算	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業特別会計	32億3,643万1千円	13億9,687万7千円	43%	14億4,533万3千円	45%
後期高齢者医療特別会計	3億103万円	1億1,201万4千円	37%	7,165万3千円	24%
介護保険事業特別会計	28億7,569万5千円	14億1,376万円	49%	11億5,519万7千円	40%
介護サービス事業特別会計	2,425万9千円	834万7千円	34%	1,122万9千円	46%
農業集落排水事業特別会計	4,310万円1千円	3,223万3千円	75%	1,827万8千円	42%

老人医療特別会計は平成22年度に廃止され、後期高齢者医療特別会計へ移行されました。

◆基金の状況

平成23年9月末現在

基金名	金額	基金名	金額	基金名	金額
財政調整基金	28億148万4千円	土地開発基金	1億2,640万2千円	国民健康保険給付費準備基金	4億7,820万円
減債基金	2億199万2千円	介護従事者処遇改善交付金基金	154万9千円	高額療養資金貸付基金	1,000万円
住宅新築資金等貸付町債償還基金	53万7千円	電源立地地域対策交付金事業基金	2,310万6千円	介護保険給付費準備基金	1,529万7千円
退職手当組合特別負担基金	2億2,843万1千円	ふるさとさつま応援基金	231万9千円	農業集落排水施設維持補修基金	901万4千円
公営住宅建設基金	8,125万7千円	災害復興基金	7,034万3千円	子ども健やか育成基金	9,012万円
庁舎建設基金	8億6,213万6千円	肉用牛特別導入事業基金	1,813万9千円	地域活性化・公共投資臨時交付金事業基金	3,756万円
一般廃棄物処理施設等維持補修基金	7万7千円	奨学資金貸付基金	4,234万3千円	合計	51億30万6千円

●特別会計の決算状況

特別会計	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険事業特別会計	34億2,245万円	33億657万4千円	1億1,587万7千円
老人保健事業特別会計	1,673万8千円	1,673万8千円	0円
後期高齢者医療特別会計	2億9,267万8千円	2億9,183万円	84万7千円
介護保険事業特別会計	27億9,720万6千円	27億4,731万8千円	4,988万8千円
介護サービス事業特別会計	2,362万円	2,344万7千円	17万4千円
農業集落排水事業特別会計	4,816万5千円	4,236万3千円	580万2千円

平成22年度末の借入残高は、79億2,949万5千円と一般会計の年間予算規模を上回る大きな金額となっていますが、昨年度より11億4,038万6千円減少しています。
 これに伴う平成23年度の返済額（公債費）は、26億6,294万7千円となり、昨年度より2億1,891万2千円減少しています。
 過疎対策事業債など借入金の種類によつて返済金の一部が国からの地方交付税に加算されるものがあり、こうした制度を有効活用しながら事業を推進しています。

平成23年度 水道事業の上半期執行状況

平成23年度上半期の水道事業の概要は次のとおりです。



●平成23年度上半期業務量（平成23年9月30日現在）

項目	上水道事業		簡易水道事業	
	23年度予定	23年9月末	23年度予定	23年9月末
給水件数	4,667件	4,666件	5,664件	5,674件
総給水量	1,072,398m ³	545,908m ³	1,240,970m ³	677,071m ³
1日平均給水量	2,938m ³	2,999m ³	3,399m ³	3,720m ³

●平成23年度上半期執行状況（平成23年9月30日現在）

(単位：千円)

科目	上水道事業			簡易水道事業		
	予算額	執行額	執行率	予算額	執行額	執行率
収益的収入	148,331	72,620	49.0%	242,092	112,206	46.3%
収益的支出	133,914	66,047	49.3%	232,611	91,849	39.5%
資本的収入	19,185	0	0.0%	87,317	50,000	57.3%
資本的支出	94,771	17,514	18.5%	218,012	87,200	40.0%

第7回さつまフェスタのご案内

楽しいステージ、たくさんの「農林産物」や「特産品」等の展示販売、親子で楽しめるゲーム、『ちくりん大鍋』の無料試食会など盛りだくさんの内容で皆様をお待ちしております。

- 日時：11月20日（日）午前9時～午後3時
 - 場所：薩摩総合運動公園（求名）
 - 共催イベント：みやんじょ五ツ太鼓まつり、花火大会
 - 主催：さつまフェスタ実行委員会
- <お問い合わせ先>
役場 農政課 農政係（内線2422・2423）



毎年長蛇の列で賑わう「ちくりん大鍋」

新規認定農業者 の紹介

（平成23年10月4日認定）
10月4日、役場町長室において、3名の方が認定農業者に認定され、農業経営改善計画認定書の交付が行なわれました。



認定農業者とは、意欲ある農業者が「私はこの町でこういう農業がやりたい」という考えと、経営を計画的に改善するために作成した「農業経営改善計画」を示し、町がその考え方・意欲を認め、地域全体で経営目標の実現を図るための環境づくりを進めることを目的とした制度です。

本町の認定農業者数は10月4日現在で個人経営体199、組織経営体32、合計231経営体です。

認定農業者に対しては、関係機関が各種支援策を集中的・重点的に実施します。



氏名(敬称略) 大迫 照明 (38歳)

居住地区 船木

経営作目 生産牛

意気込み 目標達成に向けて一生懸命頑張ります



(農)薩摩西郷梅生産組合
代表理事 竹之内孝二 (55歳)

居住地区 中津川(法人所在地)

経営作目 梅

意気込み 薩摩西郷梅のブランド化確立のため、組合員一丸となって取り組みます



楠元 伸一 (38歳)

居住地区 中津川

経営作目 トマト+水稲

意気込み 安定した経営を目指す

3種目で新記録が誕生

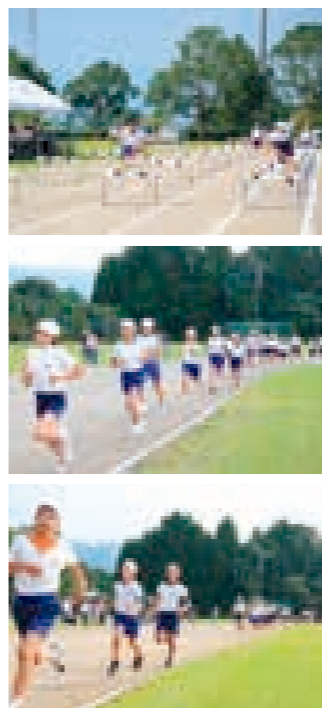
第7回さつま町小学校陸上記録会

10月12日、宮之城総合運動公園陸上競技場で開催され、町内小学校14校の5・6年の児童が集い、各種目で技やスピードを競いました。

保護者や来賓の声援を受けて、児童は精いっぱい競技し、3つの種目で4人の大会新記録も生まれました。

大会結果のうち1位及び大会新記録は次の通りです。

60mハードル走	6年女子 内山紋光(盈進小)	10秒9
60mハードル走	6年男子 富松裕太郎(盈進小)	10秒6
100m走	5年女子 西園こころ(盈進小)	15秒6
100m走	5年男子 橋元吾空(鶴田小)	14秒7
100m走	6年女子 平野奈津美(鶴田小)	15秒6
100m走	6年男子 下畝貴之(山崎小)	14秒5
800m走	5年女子 山口若葉(山崎小)	2分51秒31
800m走	5年男子 上川畑海(柏原小)	2分45秒62
800m走	6年女子 猪野未晴(盈進小)	2分51秒26
800m走	6年男子 東丞仁(佐志小)	2分48秒13



400mリレー 5年女子 永田敦美 西園こころ

黒岩祐花 濱田風希(盈進小) 1分2秒90

*大会新記録

400mリレー 5年男子 橋元吾空 高橋速人

山下直志 大田一徹(鶴田小) 1分2秒90

400mリレー 6年女子 清水七海 栗牧凜花

下大迫ゆき乃 平野奈津美(鶴田小) 1分5秒00

戸木田尚久 富松裕太郎(盈進小) 59秒50

走り幅跳び 5年女子 大迫由貴(柏原小) 3m31cm

走り幅跳び 5年男子 橋元吾空(鶴田小) 3m74cm

走り幅跳び 6年男子 小坂大地(盈進小) 3m68cm

*大会新記録

走り幅跳び 6年女子 宮脇葵(柏原小) 3m05cm

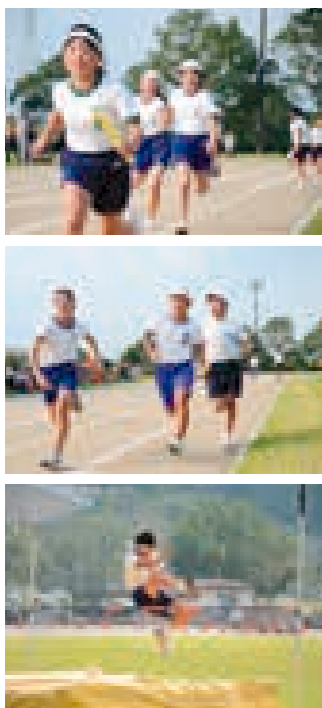
走り幅跳び 6年男子 中村洋斗(求名小) 3m81cm

走り高跳び 5年女子 松元遥香(鶴田小) 1m10cm

走り高跳び 5年男子 木場大河(鶴田小) 1m15cm

走り高跳び 6年女子 下湯瀬仁美(流水小) 1m10cm

走り高跳び 6年男子 津曲宗哉(鶴田小) 1m25cm



第4回町民体育祭

10月9日、宮之城総合運動公園において、第4回町民体育祭が開催されました。秋晴れに恵まれた会場は、20地区の選手や応援団で一日中賑わいました。

大会の結果は次のとおりです。

- 【Aパート】
優勝 柏原
準優勝 佐志
第3位 神子
- 【Bパート】
優勝 平川
準優勝 鶴田
第3位 紫尾
- 【躍進賞】
二渡



惜しい！入らんかった！



2 kmのコースを一斉にスタート



そろ入れ～



さる回し？



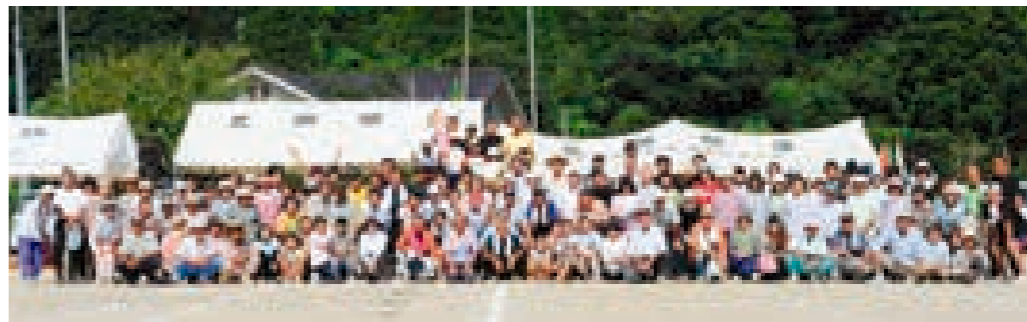
見事なジャンプ



やったー満杯に！



黄色い声援が飛びます！



運動会終了後に記念撮影

荒瀬公民会で集落運動会

9月11日、山崎区の荒瀬公民会（95戸）の21回目の集落運動会が荒瀬運動公園で行われました。幼児の「かけっこ」からお年寄りの「宝釣り」まで参加者全員で楽しみました。



運動会終了後に毎年行われる心肺蘇生法の訓練

栗野公民会では36回目の集落運動会

神子区の栗野公民会（23戸）は、9月18日に第36回の運動会を迎えました。毎年の運動会競技の傍ら、町消防本部から心肺蘇生法の指導を受けています。

創立50周年を記念して緑門づくり 鶴田小学校

今年度創立50周年を迎える、鶴田小学校では、記念事業の一環として運動会前の、9月25日にPTA会員を中心に校門前に緑門を設置しました。10月2日に行われた創立50周年運動会には、還暦と50歳を迎える卒業生も競技に参加し、児童と一緒に運動会を楽しみました。

平成23年10月から「子ども手当」が変わります

（平成23年10月～平成24年3月）

- 支給対象**
子ども手当は、中学校卒業まで（15歳に達した後最初の3月31日まで）の子どもを養育している方に支給します。
- 支給額**
3歳未満＝15,000円（一律）
3歳以上小学校修了前＝10,000円
（第3子以降は、15,000円）
中学生＝10,000円（一律）
- 支給時期**
平成24年2月＝平成23年10月分・平成24年1月分（4か月分）
平成24年6月＝平成24年2月分・3月分（2か月分）
- 保育料や受給者の申し出があった場合の学校給食費などを、市区町村が子ども手当から徴収することなどが可能になります。**（現在、検討中です。詳細については、後日、お知らせします。）



【中学校卒業前のお子さまをお持ちの方へ】

10月からの子ども手当を受け取るためには、これまで子ども手当を受け取っていた方も含め、全ての方について申請が必要です。平成23年10月1日時点で受給資格のある方は、平成24年3月末までに申請をすれば、10月分から手当を受け取ることができます。（対象の方へ申請方法についての文書を送付してあります。）

ただし、次の方は、速やかに申請を！

10月以降に他の市区町村へ転出した方、10月以降にお子さまが生まれた方

10月以降に他の市区町村へ転出した方は、転出した日（転出予定日）の翌日から15日以内、10月以降にお子さんが生まれた方は、お子さまが生まれた日の翌日から15日以内に申請が必要です。（3月までに申請をしても、さかのぼって受け取れません。）

【次の場合、15日以内に申請してください】

子ども手当は、原則、申請した月の翌月分から支給されます。ただし、出生日や転出予定日（異動日）が月末に近い場合、申請が翌月になっても異動日の翌日から15日以内の申請であれば、申請月から支給します。申請が遅れると、遅れた月分の手当を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

【以下の①～④に該当するときは届出が必要です】

子どもを養育しなくなったことなどにより、支給対象となる子どもがいなくなったとき（減額になるとき）
同じ市区町村の中で住所が変わったとき、または養育している子どもの住所が変わったとき
受給者の方または養育している子どもの名前が変わったとき
海外に住んでいる父母から国内で子どもを養育している者として、「父母指定者」の指定を受けるとき

【今までの子ども手当と違うところは…】

- ①子どもが日本国内に住んでいること
原則として、子どもが日本国内に住んでいる場合に子ども手当を支給します。
ただし、子どもが海外に留学している場合は、子ども手当を受け取ることができる場合があります。
- ②両親が離婚協議中で別居している場合は、子どもと同居している方を優先
父母が離婚協議中で別居している場合は、お子さんと同居している方に支給される場合があります。
ただし、単身赴任の場合は、これまでどおり、子どもの生活費を主に負担している方に支給します。
- ③海外にいる父母が指定する人に支給
父母が海外に住んでいる場合、その父母が、日本国内に住む子どもを養育している人を指定すれば、指定された方に子ども手当を支給します。
子どもの住所のある市区町村に、「父母指定者指定届」を提出して、認定を受けてください。
- ④未成年後見人に支給
子どもを養育している未成年後見人がいる場合は、未成年後見人に子ども手当を支給します。
- ⑤児童福祉施設の利用者、里親に支給
子どもが施設に入所している場合や里親等に委託されている（預けられている）場合は、原則として、その施設の利用者や里親等に子ども手当を支給します。

【お問い合わせ先】

- ・本庁 福祉課 子ども福祉係（内線2133）
- ・鶴田支所 保健福祉係（内線4115）
- ・薩摩支所 保健福祉係（内線6124）



PTA会員を中心に作製された緑門前で記念撮影をする、鶴田幼稚園児と鶴田小学校児童

さつまの日

- 毎月第3土曜日は「青少年育成の日」
- 毎月第3日曜日は「家庭の日」

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動が9月21日から30日までの10日間行われ、本町においても様々な運動が行われました。運動初日の21日には、500人街頭立哨が実施されました。

これは、交通安全推進機関だけでなく、広く町民のみならずにも参加していただき、交通安全に対する意識の高揚に繋げることを目的に実施され、通学途中の児童生徒や出勤途中のドライバー等に交通安全を呼びかけました。

また、22日には、北薩地域振興局さつま庁舎前においてさつま地区交通安全協会、さつま地区安全運転管理協議会、町交通安全母の会、さつま警察署等と合同で「交通安全街頭キャンペーン」が実施されました。



500人立哨による交通安全の呼びかけ(宮之城鉄道記念館前)

「交通事故なし」ということで、梨や啓発チラシを通行するドライバーに配布し、交通安全を呼びかけました。

他にも、町内各事業所や各種団体の方々が、近くの主要道路で、独自に交通安全運動の呼びかけを行っていただきました。

県産材の利用拡大を



奥川薩地区林材協会長から日高町長へ要望書が手渡されました

10月8日は、「木の日」で、木の良さを見直す日です。

このPR活動の一環で、川薩地区林材協会(奥秀高会長)の方々が、県産材利用促進のため来庁されました。

健全な森林整備による地球温暖化防止や、木の持つ優れたかさなど、木材は私たちの快適な暮らしにとって非常に有効な資源であるので、木材生産量を増やし、県産材を大いに利用してほしいとの要望でした。

一流に学ぶ!

ハンドボール教室

10月6日、柏原小学校で文部科学省・公益財団法人日本体育協会・スポーツ選手活用体力向上事業の一環でアジア大会、世界選手権に日本代表として出場された佐久川ひとみさんを講師に、ハンドボール教室が開催されました。

この日は、柏原小学校全校児童75人を上・下学年に分けておよそ1時間ずつの教室となりました。

6年生の片野悠矢さんは「ハンドボールは初めてでしたが、とても楽しかったです。ボールを投げるときは肩の動きなどがよくわかりました」とお別れの会で感想を述べていました。

「子どもたちにハンドボールのおもしろさを感じてほしい」「小さい頃からボールを使って遊んで欲しい」と佐久川さんは抱負を話されました。



児童にボールの投げ方を指導する佐久川さん



調印後に握手を交わす、齋藤太吾フォービステクノ(株)代表取締役社長、川野敏彦産業立地課長、日高町長(左から)

地域雇用期待

フォービステクノ(株)立地協定

9月26日、「フォービステクノ株式会社」の工場移転新設に係る立地協定調印式が行われました。

当社は、液晶モニター・テレビ等のアーム関連製品(設置面とモニター等とを支える部位)の製造を目的として、平成15年6月に旧宮之城町に設立され、現在操業を行っています。

今回の工場移転新設は、大型電子看板用スタンド等の製造を始めるにあたり、現在の工場が手狭となったことから、倉内工業団地内にある空き工場を購入され、工場の移転を行うものです。

操業開始予定は、平成24年6月であり、新規に3名の雇用を計画されています。

今回の移転新設により町の活性化・雇用創出・地域経済の浮揚発展に大きく貢献するものと期待されます。

グリーン・ツーリズム

川の体験を実施

9月24日、さつま町グリーン・ツーリズム研究会と北薩広域公園では、合同による「沢登り体験」を実施しました。

今回の体験は、泊野川の清流約1kmで川の中を歩いたり、泳いだりしながら、川とふれあいを体験するものでした。

参加した子ども達は少し肌寒い中でしたが、時間も忘れず、元一杯一杯に川とふれあいを楽しみました。

今回初めての取り組みでしたが参加者からは「今後も続けて実施してほしい」と好評でした。



泊野川での沢登りを楽しむ子ども達

さつまの日

毎月第3土曜日は「青少年育成の日」

毎月第3日曜日は「家庭の日」

祝105歳

柏原 河野ユキノさん

高齢者の平均寿命の伸びや100歳以上の増加に伴い、昨年度から105歳・110歳に到達された長寿者に記念品を贈ることとしています。

現在、最高齢である諏訪下公民会の河野ユキノさんが9月21日に105歳に到達されましたので、町から家紋入りの記念品が贈られました。

記念品贈呈は、自宅で10人の子供さん全員に見守られた中で行われました。

河野さんは普段は入院されていますが、肌つやも良く、元気で過ごされています。

記念品は町内で精密機械部品を加工されている「株式会社精工」に製作していただいた商品です。



誕生日に大勢の親族に囲まれて祝福された河野さん(前列右)



田中会長(左)からA賞当選者の福園さんにブルーレイレコーダーを贈呈

さつまスタンプラリー 2011当選者決まる

さつま町農林産物等直売所連携会では、町内5箇所の直売所を巡るスタンプラリーを、7月21日から8月31日までの夏休み期間に実施しました。

期間中は、町内はもとより町外やお盆に県外から帰省された方など、180人(町外・県外から60人の応募者含む)の方から応募がありました。

9月6日に厳正なる抽選を行い今回の目玉であるA賞「ブルーレイレコーダー」B賞「地上波デジタル対応テレビ」のほかに「さつま町特産品」など合計72人の方が当選されました。

ふるさと再発見

さつまふるさと体験塾

10月15日、薩摩農産物加工センターにおいて、町の特産品である「梅」の加工・生産工程の体験・見学を行いました。

町内の小学生20人は、2班に分かれて、梅の大きさの選別作業や、大きなコンテナに漬けてある梅の取り出し・洗浄作業を体験しました。

子どもたちは普段経験することの無い作業に興味を持って取り組んでいました。普段何気なく食べている梅干は加工センターの方々が時間をかけて丁寧に作っているということを知り、説明を真剣に聞いていました。

参加した子どもたちは、本町で生産される「薩摩西郷梅」の豊かな香りを体いっぱい感じて「ふるさと」の魅力が再発見してくれたことと思います。



加工センター職員の方と一緒に梅の取り出し作業

第6回いきいきシルバースポーツ大会

10月4日、町高齢者クラブ連合会主催の「第6回いきいきシルバースポーツ大会」が宮之城総合体育館で開催されました。大会には町内の老人クラブ21チーム約500人が参加し、輪投げやお手玉入れなど5種類の競技を行いました。



「何個入るか？」お手玉入れ競技

高齢者とは思えない元気な動きに応援の方も盛り上がりました。

また、昼食時には保育園クオラキッズの園児によるマージャンなども披露され、終始和やかな雰囲気の中行われました。

なお、優勝は船木旭、準優勝は時吉、3位は湯田チームで、この3チームは今月、薩摩川内市入来町で開催される川薩地区大会に出場されます。

商業新規参入者支援補助金及び商業後継者に祝金授与

9月20日、役場において、商業新規参入者支援補助金を1人の方に、商業後継者祝金を2人の方へ授与いたしました。

商業新規参入者支援補助金は、虎居町で7月から美容業を始められた宮里俊介さん、商業後継者祝金については、永野で食料品小売業を営む熊田卓三さんと、精密機器製造業を営む比知屋正造さんの3名が授与されました。

この新規参入支援補助は、新たに商業に関する経営を開始した40歳未満の商工会員の方に、商業後継者祝金は、親兄弟又は姉妹が営む商業を引き継いで経営をした55歳未満の商工会員の方に対して支給しています。



左から日高町長、宮里さん、比知屋さん、熊田さん

上位入賞に輝く!

第60回鹿児島県畜産共進会

10月8日、始良中央家畜市場にて、第60回鹿児島県畜産共進会が開催されました。今回の共進会へは、県内10地区より肉用牛76頭が出品され、改良重点項目である体型面と管理面の改善点について審査されました。

本町からは、9月27日開催の第52回川薩畜産共進会で地区代表に選出された3頭が出場し、全頭上位入賞の優秀な成績に輝きました。また、薩摩中央高校からも高校生等出品区へ『めい号』が出場し、リーダーの毎床元気さんが同高校での取り組み等について発表しました。個人・団体成績は次のとおりです。

- 《個人成績》
肉用牛若雌1区 ゆづな号 羽子田ひとみ 優秀賞
- 肉用牛若雌2区 さやか号 徳重真生 最優秀6席
- 肉用牛成雌区 ゆきの号 羽子田繁 優秀賞



肉用牛若雌2区で最優秀6席に輝いた「さやか号」

《団体成績》
地区別共進会団体成績
第3位 薩摩地区
地区別団体知事賞成績
第1位 薩摩地区

あいさつ・マナーを学ぶ

紫尾小・柗野小学校



生活のいろんな場面でのマナーについて学びました

9月27日、柗野小学校でフリアアナウンサーの中村朋美さんを講師に迎え、あいさつ・マナー教室が実施されました。この日は、近隣の紫尾小学校5・6年生6人も一緒に参加しました。柗野小5年小池悠太郎くんは「今日は、去年の復習も兼ねて、人の前を横切る時の言葉やしぐさなど新しいことも学ぶことができ、とても勉強になりました。」と感想を話してくれました。

ゲームと上手に付き合おう

柗カブコンが出前授業

10月7日、柗野小学校体育館で、ゲーム会社「柗カブコン」を講師に招いて「ゲームとの上手な付き合い方教室」が実施されました。

これは、生活の中でゲームで遊ぶ適正な時間設定の意識付けを図ったり、キャリア教育の一環としてゲーム会社の仕事内容について学んだりすることをねらいとしています。当日は、近隣の紫尾小学校、白男川小学校、平川小学校の児童も一緒に参加しました。

白男川小学校の岩崎るなさんは「ゲームは楽しいけど、してはいけないこともあるんだなと思った。長い時間ゲームをするのと体に悪いから、なるべく短い時間でゲームをすることがわかった」と感想を話してくれました。



「家で何時間くらいゲームをしますか?」



左から和氣副町長、小倉さん、山内さん、宝満さん、日高町長

町農業後継者祝金贈呈式

10月7日、役場にて、さつま町農業後継者祝金贈呈式が行われました。

これは、本町に後継者として新規に就農した方に祝金を交付し、就業意欲の向上と、優れた農業経営者の育成を図ることに伴い、本町の農業の活性化と農村振興に寄与することを目的とし実施されたものです。

- 本年度は、次の4人が後継者として就職し、贈呈式において、日高町長から農業後継者へ励ましの言葉と、祝金の贈呈が行われました。
- (敬称略)
羽子田ひとみ (30) 虎居生産牛
 - 宝満健作 (27) 久富木生産牛
 - 山内裕樹 (21) 船木茶+水稲
 - 小倉聡 (21) 船木茶

全国大会出場!

ハーモニーさつま

さつま町文化協会会員のコーラスグループ「ハーモニーさつま」が、9月24日、鹿児島市勤労者交流センターで開催された「第7回鹿児島県うたごえ交流会」に出場し、見事全国大会出場の切符を手に入れました。

「ハーモニーさつま」は町内の50〜60代の方を中心に結成されたコーラスグループで、毎週定期的に練習を行い、文化祭などの町内行事にも積極的に参加されています。全国大会の「2011年日本うたごえ祭典inちば」は、11月20日に千葉県で開催されます。「ハーモニーさつま」の活躍が期待されます。



鹿児島市勤労者交流センターで行われた県大会の様子

NHK BSプレミアム 「こころ旅」の募集!

平成23年春より、NHK BSプレミアムにて「こころ旅」の放送がスタートしました。9月からは、秋の旅ということで兵庫県の皮切りに九州へと南下、鹿児島県を目指します。

視聴者の方々に届く一通の手紙に記される思い出の場所や大切な場所、力を与えてくれる場所をもとにルートを決め、俳優・火野正平さんが自転車で縦断していきます。鹿児島県内では、4本の番組製作が予定されています。さつま町にあふれる素晴らしい風景・自分だけの美しい光景などを紹介していただければと思います。皆様の心の風景を是非日本の皆様の心に写していただきましょう、多くのご応募をお待ちしております。

【チャンネル】BSプレミアム(BSチャンネル3)

【放送予定】平成23年9月26日(月)〜12月16日(金)
夜(毎週 火〜金)午後7時〜午後7時29分
朝(毎週 月〜金)午前7時45分〜午前7時55分
再放送 午前11時30分〜午前11時40分

■鹿児島県の放送予定: 12月12日(月)〜12月16日(金)
鹿児島県の放送予定: 12月12日(月)〜12月16日(金)

【応募方法】
番組ホームページ <http://www.nhk.or.jp/kokorotabi/>
ファックス 03(33465)1327
(応募書式は商工観光課にあります)

手紙 〒150-8001

- NHK放送センター「こころ旅」係
- 住所
 - 氏名
 - 電話番号
 - 性別
 - 年齢
 - 思い出の場所
 - 場所に基づいたエピソード
 - 写真(ある場合OK)

【応募締切】平成23年11月25日(金)



お問い合わせ先 さつま町役場 商工観光課
(内線2241・2242)

こんにちは保健師です

健康さつま21

かぜの季節がやってきます!

かぜは、その大半がウイルスによって引き起こされます。「万病の元」といわれるように、こじらすと不快な病状が続くだけでなく、二次的に気管支炎や肺炎などを起こしてしまうこともあります。かぜの原因となるウイルスの種類は、200種類にも及び、その代表格となるインフルエンザは主に冬に流行し、発熱、頭痛、関節の痛みなど症状も重いのが特徴です。次のことに気をつけてかぜ予防に努めましょう。

◎マスクをつける 咳1回で約10万個、くしゃみ1回で約200万個のウイルスが、2〜3メートル先まで飛散します。マスクを着用し、飛散を防ぎましょう。



◎加湿 かぜのウイルスの中でも、冬に流行するインフルエンザウイルスなどは湿度にきわめて弱い性質があります。部屋の湿度をあげることは、インフルエンザの予防に非常に効果的です。加湿器や洗濯物を室内に干すなど湿度をあげるようにしましょう。

◎保温 鼻からのどまで続く粘膜には、「線毛」とよばれる直径1,000分の1ミリ程度の毛が隙間なく生えています。線毛はウイルスや細菌の侵入を少なくする働きをしていますが、寒いところでは、鼻やのどなどの血管が収縮して線毛の動きが鈍くなります。保温に努めましょう。



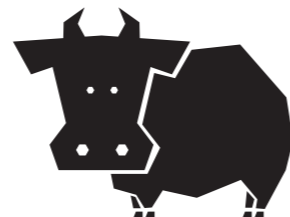
◎手洗い・うがい ウイルスは手や顔、鼻やのどの粘膜、衣類などに付着します。帰宅後は石けんで手洗い・うがいをしましょう。



◎予防接種 インフルエンザを予防するには予防接種が有効です。流行の時期が12月〜3月であることを考えると、早めの接種をお勧めします。なお、効果の持続は約5か月間です。

10月子牛せり市結果 期日:10月4日(火)〜5日(水) (消費税抜き、売却分) (単位:頭・円・kg)

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回は(対9月分)
めす	302	130,796,000	1,059,000	433,099	280	5,165円高値
去勢	341	146,155,000	678,000	428,607	300	2,870円安値
合計	643	276,951,000	1,059,000	430,717	290	810円高値



町政マニフェスト報告

「町民が夢と希望の持てる元気なまち」づくりを目指して2年が経過いたしました。

町長のマニフェスト（政策公約）につきましては、「大胆改革さつま」と題し、4つの戦略宣言（①元気な農林・商工業のまち宣言 ②子ども健やか育成宣言 ③大胆改革さつま宣言 ④安心安全さつま宣言）や8項目のプロジェクトを掲げ、この全ての分野の事務事業に着手し、取り組みを進めてきているところです。

この各種事業への取り組みは平成21年度で89項目の取り組みを行い、平成22年度には既に事業完了したものも含め102事業へと事業拡大をしています。

また、平成23年度には新たに三つの新規事業へも着手し、私たちの町に潜在するさつまの底力を十二分に発揮できる環境整備に積極的に取り組んでいるところです。

昨年度及び本年度の主な取り組みについて報告します。

①元気な農林・商工業のまち宣言

農業の担い手確保と育成を図り、集落営農を推し進めるため、これまでの町、JAとのワンフロア化に新たに鹿児島県を加え三者による連携強化を図り、これまでに鹿の円滑な事業推進に取り組んでいます。

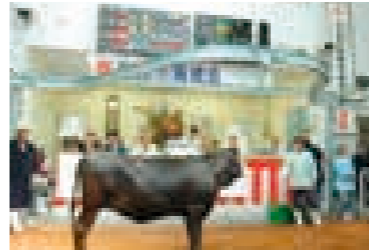
中山間地では、農林産物に対する鳥獣被害対策が重要課題となつていくことから、町では鳥獣被害防止計画を策定し、計画に基づく対策に取り組んでいます。

農業の6次産業化（農産物生産・加工・流通販売）を推進するために、単独の補助制度の検討を進め、平成23年度から「農産物加工施設整備事業」を創設しました。本年度から伊佐家畜市場も本町家畜市場へ合併を行いました。今後、それに向け周辺道路の改良・舗装工事を実施しました。今後も畜産の環境整備に努めていきます。

雇用の場の創出及び拡大は、本町の定住環境整備においても必要不可欠な事項であることから、企業が本町へ進出しやすいよう企業立地促進助成金制度の見直しを行いました。昨年度は、3件の企業立地協定が締結され、本年度は1件の協定を締結しています。

魅力ある商店づくり支援として、中小小売店舗改造のための助成制度の取り組みを昨年度から始めました。

また、本年度からは町内の旅館業等の施設整備への補助制度も新設したところです。



②子ども健やか育成宣言

今年2月に「健康づくり推進の町」宣言を行い、町民の健康づくりに体系的に取り組む活動を展開してまいります。児童生徒の入院医療費を全額無料化する「児童生徒入院医療助成制度」を新設しました。

「肺炎球菌やヒブ、水ぼうそう」などの予防ワクチン接種費用の助成制度も新設しました。

以前より進められていました乳幼児健診事業に本町独自の7、8か月児育児相談を新たに組み入れ、保護者と一緒に育児支援活動に取り組んでいきます。

本年度から特定不妊治療の支援事業として、「こうのとり支援事業」を新設し、県の助成に本町の助成の併用も認めるなどの取り組みを始めています。

赤ちゃんの健やかな成長を願い、赤ちゃんに絵本を贈呈する「ブックスタート事業」の取り組みを昨年度からスタートさせました。

本を通じた親子のふれあい促進など子育て支援施設として、こども図書館の整備へ向けた取組みを進めました。（こども図書館は本年10月27日に薩摩支所内に「えほんの森」としてオープンしました）



③大胆改革さつま宣言

厳しい行財政の改革を進めるため、町長20%、副町長5%、教育長3%の給料月額削減を実施しました。また、一般職員の給与、期末・勤勉手当、議会議員の報酬（議長5%、副議長・議員3%）の削減も継続して実施しています。

地方分権の進展や行政改革の推進の中、効率的で効果のある事務事業の推進を図るため、昨年度は事務事業評価制度の検討を進め、本年度から導入を行います。

町政の円滑な運営と共通認識を常に図る目的で、三役（町長・副町長・教育長）による調整会議を月一回のペースで開催し、町政課題について政策決定のスピード化を図るよう努めています。

町職員の「定員管理計画」を昨年度策定し、職員の削減を図る一方で、定量的な職員採用も進め、バランスの取れた組織体制を構築してまいります。定住促進住宅地である佐志ニュータウンの分譲地の販売促進を図るため、昨年度から販売価格の20%の助成を実施し、目標区画（5区画）を達成しました。



④安心安全なまち宣言

高度医療機器として携帯型超音波画像診断装置及び患者監視装置を購入し、救急医療施設である薩摩郡医師会病院へ貸与しました。

非常時の要である消防団の後方支援体制を確立するために、23分団全てに消防団OBで組織する消防災害支援隊を組織し、その活動に対する助成事業をスタートさせました。災害発生時の初動体制の迅速化及び連携強化を図り、また地域住民の防災意識の向上、情報の共有化を図るため、昨年度から安全安心情報メールの配信をスタートしました。本町学校施設における耐震化については、昨年度までに耐震化率93%と対策を講じ、要耐震化4棟についても耐震補強工事を実施していく計画です。



新コーナー

さつまのポテンシャルを引き出せ!

まちの園芸作物紹介① ジャンボいんげん



- 特徴**
平さやの大きなすじなしいんげんであり、さやは幅2cm、長さは20cm前後、重さ20gと大きいですが、軟らかく非常に美味しくいただけます。
- 料理方法**
①短く切って天婦羅にして食べると、いんげんの甘味が引き立ち美味しくいただけます。
②短く切って塩ゆでし、マヨネーズと醤油で食べると、簡単に酒の肴に最適です。
③短く切って煮物や炒め物にすると美味しく、鮮やかな緑が引き立ちます。

- 栽培方法等**
以上のように、手軽に簡単に料理に使える万能野菜です。マルチの畝を立て、種まきはお盆過ぎに直播し、アーチパイプを立ててネットを張り、いんげんの蔓を這わし栽培します。収穫は、9月下旬から12月初旬の初霜が降りるころまでです。
- 出荷先等**
自宅で簡易選別後、北さつま農協の選果場に持ち込み箱詰めされ、主に名古屋方面に出荷されます。

- この作物は、設備投資も少なく、高齢者でも栽培でき、なおかつ高収益作物（10a当たり97万円の販売実績もあります）という事もあり、町では本年度から振興作物と位置づけ、面積拡大に取り組んでいます。**
 - また、9月下旬から町内の直売所やスーパー等で販売していますので、是非お問い合わせください。**
- お問い合わせ先
農政課 農産園芸係（内線2424）



■くらしの情報

●家屋を取り壊したら届出を!
 本年中に家屋を解体(滅失)した方は、速やかに

●特別障害者手当等について
 在宅の重度障害者(児)に対して県から支給されるものです。
 ・特別障害者手当
 月額 26,340円
 ・障害児福祉手当
 月額 14,330円
 ・経過的福祉手当
 月額 14,330円
 対象者は、日常生活に常時の介護を必要とする在宅の重度障害者(児)で、支給には県の認定が必要です。所得等の要件があり、施設入所・長期入院している方など、認定の対象とならない場合もあります。
 申請・お問い合わせ先
 本庁 福祉課 福祉障害係
 (内線2134)
 鶴田支所 保健福祉係
 (内線4113)
 薩摩支所 保健福祉係
 (内線6122)

●狩猟解禁のお知らせ
 今年も11月15日から狩猟が解禁となります。
 イノシシやシカを捕獲するため散弾銃や箱わな等の狩猟免許を持った方による

●給与所得者の年末調整
 12月は、給与等に係る源泉所得税の年末調整の月です。
 毎月の給与等から源泉徴収された所得税の一年間の合計額と、その年の給与総額に対する年税額とは一致しないのが普通です。
 このため、源泉徴収税額の過不足分を精算する必要があります。
 「年末調整」と呼んでいます。
 大部分の給与所得者は、年末調整によりその年の所得税の納税を完了することになりますので、年末調整が正しく行われるためには勤務先に扶養親族や保険料などの申告を正しく行うことが大切です。
 詳しくは、最寄りの税務署にお気軽にお尋ねください。

お問い合わせ先
 ・川内税務署 0996 (22) 2830
 自動音声案内

税務課 資産税係
 内線2116

●9月の火災・救急情報

○火災 発生件数	0件
○救急 出動件数	92件
運んだ人	90人
内訳	
急病	45件43人
交通事故	2件2人
その他	45件45人

消防本部
 ☎(52) 0119

「家屋滅失届」を提出してください。届け出がないと翌年度もそのまま課税される場合があります。なお、事情等により届け出が翌年になる場合は、賦課基準日である1月1日に存在したか否かの確認ができないため、当該家屋を取り壊した解体業者の「解体証明書」の添付が必要です。
 お問い合わせ先
 本庁 税務課 資産税係
 (内線2115・2116)
 鶴田支所 税務係
 (内線4214)
 薩摩支所 税務係
 (内線6114)

●小規模校入学特別認可制度(特認校制度)について
 【制度の趣旨と目的】
 指定された極小規模校で学ばせたいと希望する保護者・児童に一定の条件のもと特別に入学(転学)を認める制度です。
 【特認校への入学(転学)】
 入学、転学を希望する場合は、別に定めた入学転学の条件に基づき町教育委員会が適否の判断を行います。
 【指定する学校(特認校)】
 柘野小学校
 柘野467番地
 (59) 8203
 泊野小学校
 泊野451番地
 (54) 2003
 白男川小学校
 白男川1501番地1
 (52) 2876

【特認校へ入学・転学ができる学校】
 特認校に入学・転学ができる学校は、盈進小学校からだけです。
 【通学上の条件】
 町通学費補助の適用があります。(一部、保護者負担有り)
 【入学・転学の期間】
 原則として、4月1日より



【狩猟が行われる場所】
 鳥獣保護区や休猟区等狩猟が禁止されている区域を除く県内全域

【狩猟期間】
 原則として11月15日から翌年2月15日まで
 イノシシ、シカについては猟期が3月15日まで延長されています。

【特別障害者手当等について】
 在宅の重度障害者(児)に対して県から支給されるものです。
 ・特別障害者手当
 月額 26,340円
 ・障害児福祉手当
 月額 14,330円
 ・経過的福祉手当
 月額 14,330円
 対象者は、日常生活に常時の介護を必要とする在宅の重度障害者(児)で、支給には県の認定が必要です。所得等の要件があり、施設入所・長期入院している方など、認定の対象とならない場合もあります。
 申請・お問い合わせ先
 本庁 福祉課 福祉障害係
 (内線2134)
 鶴田支所 保健福祉係
 (内線4113)
 薩摩支所 保健福祉係
 (内線6122)

川薩電気工事工業協同組合
省エネ・節電フェア!
 ~50周年の感謝を込めて~
 日時: 11月27日(日) 10時~16時
 場所: 薩摩川内市西向町ササホール(国道3号沿九電線)
 電気工事部 0996(53)23-2840

石材の専門家
墓 石
納 骨 堂
石材彫刻

確かな信頼と永年の実績を誇る
鳥居石材店 鳥居通
 さつま町虎居町7-8 TEL 0996 (53) 1189

ちくりんスタンプ会イベント情報
 スタンプを貼り終えた台紙に、貼ってご利用ください。このシールを貼ってある台紙はスタンプシールをプラス10枚差し上げます。
スタンプシールプラス10枚
グラウンドゴルフ大会と人吉温泉(1泊2日の旅)
 日時: 11月23日(水) 台紙2冊と10,000円
 ~24日(木)
 場所: 一勝地温泉「かわせみ」
 有効期限 平成23年11月30日
 詳細は、ちくりんスタンプ会まで ☎53-1141(町商工会内)

薩摩郡医師会病院診療案内 (H23.7.1~)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	神野	神野		神野	神野	
神経内科		花田	花田		花田	
救急科	益崎	益崎	益崎	益崎		交代制
循環器内科			福岡	堀之内(第2・第4)	早川	
消化器内科				倉元	倉元	倉元
外科	緒方	緒方	緒方		緒方	大学
整形外科	福嶋	福嶋	福嶋	福嶋		
放射線科	林田	林田		林田	平木	

*50歳以上の方は、低線量CT肺がん検診が、3,150円で受診できます!
 担当: 外川内 (TEL0996-53-0326)

広告掲載料 ~ 広告を掲載しませんか? 広告主大募集! ~
 ・広報さつま 1枠 1万円(縦6.0cm x 横8.5cm)
 ・町ホームページ(行政サイト) 1月8,000円
 ・町公用封筒(定型封筒長型3号) 1枠3万円(縦10.0cm x 横8.5cm)
 ・てんがらなび(住民交流サイト) 1月5,000円
 詳しくは町ホームページをご覧ください。http://www.satsuma-net.jp/

教育委員会 総務課
 内線2511

【特認校へ入学・転学ができる学校】
 特認校に入学・転学ができる学校は、盈進小学校からだけです。
 【通学上の条件】
 町通学費補助の適用があります。(一部、保護者負担有り)
 【入学・転学の期間】
 原則として、4月1日より

【学校見学など】
 特認校の見学・参観・体験入学ができます。ご希望の方は直接、当該学校長へ連絡してください。
 具体的な手続きや内容などは、町教育委員会総務課まで、お問い合わせください。
 なお、教育委員会では、現在学校適正化計画(案)を策定し説明中です。この計画(案)では特認校制度は平成25年度まで終了することになっています。

さつまの日
 毎月第3土曜日は「青少年育成の日」
 毎月第3日曜日は「家庭の日」

教育委員会 学校教育課
 内線2514

【募集を行う町立幼稚園】
 ・鶴田幼稚園
 さつま町神子758番地
 (55) 9950
 【入園対象者】
 ・満4・5歳児
 (平成18年4月2日~平成20年4月1日生の幼児)
 【お問い合わせ先】
 教育委員会
 学校教育課 学事係
 (内線2514) 及び鶴田幼稚園



がんばれ 認定農業者!! シリーズ⑥⑥

さつま町紫尾

おおさこ かつや
大迫勝哉さん 51歳



大迫勝哉さんは、平成23年1月に認定農業者として認定されました。
現在、生産牛12頭・育成牛3頭、水稲2haと農作業の受託作業を行われています。
「現在の牛舎は古く、糞尿処理などの作業効率が悪いのが難点」と話されます。
本業の傍ら、町農業委員や消防団員として地域に根ざした活動もされています。
趣味の魚釣りも忙しくてなかなか行く機会がない大迫さんは、今後「認定農業者として、畜産・水稲の両面において規模拡大を図っていきたい」抱負を話してくださいました。

町長交際費執行状況 (9月分)

- 9月6日 17,538円
企業訪問活動時
- 9月11日 33,780円
関東永野会総会時
郷土産品送達
- 9月14日 15,468円
企業訪問活動時
- 9月22日 71,117円
立地企業役員との増設
・雇用意見交換会時
- 9月26日 38,000円
立地協定調印式記念品
- 9月26日 32,090円
立地協定調印式時
- 9月28日 27,000円
衛生管理者との意見交換会時

町長の動静 (平成23年9月)

※主な会議及び行事を抜粋 (各課・局との内部会議は省略)

9月1日 (木)	倫理法人会講和 朝会 3役調整会議 町畜産品評会(鶴田地区)
2日 (金)	地域高規格道路事業説明会(薩摩地区) 町畜産品評会(宮之城地区) 高等学校校定員確保に関する県への要望(鹿児島市) 町民ハレホール大会
4日 (日)	9月定例議会開会 北薩森林組合長との意見交換 水源地造林協議会事務局との協議 夏祭り反省検討会
5日 (月)	企業訪問(7日まで) 名古屋(岐阜県) 町政座談会反省検討会 地域高規格道路事業説明会(宮之城地区) 救急医療町民講座 意見交換会 川内川河川改修・ダム再開発意見交換会
6日 (火)	北さつま農協組合長とのTTP問題協議 北さつま農協組合長とのTTP問題協議
7日 (水)	宮之城中学校体育大会 地区運動会(久富木区北原・山崎区荒瀬)
8日 (木)	議事本会議(一般質問6人) JA北さつまトマト部会総会
9日 (金)	議事本会議(一般質問4人) 議会全協
10日 (土)	JA北さつま青梅部会総会 町交通安全対策会議ほか
11日 (日)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
12日 (月)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
13日 (火)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
14日 (水)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
15日 (木)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
16日 (金)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
17日 (土)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
18日 (日)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
19日 (月)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
20日 (火)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
21日 (水)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
22日 (木)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
23日 (金)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
24日 (土)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
25日 (日)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
26日 (月)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
27日 (火)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
28日 (水)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
29日 (木)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑
30日 (金)	鶴宮園敬老会 常任委員会町長総括質疑

町長コラム 長寿を寿ぐ

日高政勝

日本は、平均寿命女性86.44歳で世界一位、男性79.5歳で五位と誇るべき長寿国です。町内でも敬老会などで多くの高齢者と接する機会を得て長寿にあやかりました。中には明治大正、昭和、平成と元号変遷の歴史の生き証人として、その時代々の様々な出来事、特に戦争体験者も多く、今の穏やかな笑顔の奥には、艱難辛苦、喜怒哀楽の人生模様が秘められていると感じられました。

また、それぞれの分野でたゆまない努力をして頂いたお陰で、今日の豊かな地域社会の実現や幸せな家庭が築かれたと改めて深い敬意と謝意を表したい気持ちです。

これから進みゆく高齢化社会をお互いに支えあって、長寿を寿ぎ合える社会をどう実現していくか、皆で真剣に考える時にきています。これまでの社会のシステムをどう変えていくか、町内では既にその取組が始まっています。公民会組織に「福祉部」を設けて民生委員、福祉アドバイザー、健康推進員などのメンバーで見守り、ゴミ出し、買物、サロン開設などの支援活動を行って頂いています。この活動の輪を全町的に広げて、地域の連帯感に基づき「地域力」を発揮し、安心して暮らせる町を目指してまいります。

■ 暮らしの情報

●お問い合わせ: さつま町役場 TEL (53) 1111 FAX (52) 3514

- ### 健康増進課 健康増進係 内線2144
- 健康診査日程 [11・12月分]
 - 乳幼児健診・健康相談
 - 1歳7〜8か月児 (H22・3生) 11月16日(水) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 3歳児 (H20・9生) 健診 11月30日(水) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 2歳児健やか健康相談 (H21・11生) 12月1日(木) 午前9時〜午前9時30分 受付(宮之城保健センター)
 - 2歳6か月児健診 (H21・5生) 12月1日(木) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - すくすく育児相談 12月2日(金) 午前9時〜午前10時 受付(宮之城保健センター)
 - 7〜8か月児 (H23・4生) 育児相談 12月2日(金) 午後1時〜午後1時30分 受付(宮之城保健センター)
 - 4か月児 (H23・7生) 健診 12月7日(水) 午後0時30分〜午後1時

- 受付(宮之城保健センター) 母子健康手帳交付 11月28日(月) 12月12日(月) 午前9時30分〜午前11時 (宮之城保健センター) 健康保険証、印鑑をお持ちの上、ご夫婦でおいでください。
- フッ化物塗布 11月16日(水) 11月30日(水) 12月1日(木) 午後3時〜午後4時 受付(宮之城保健センター)
- 総合健康相談 12月6日(火) 午前9時30分〜午前11時 (宮之城保健センター)
- 子宮がん・乳房がん 骨粗鬆症検診 11月15日(火) 鶴田保健センター 11月16日(水) センター 11月17日(木) 薩摩農村環境改善センター 11月18日(金) 改善センター (11/18は午前のみ実施) 午前受付8時30分〜9時 午後受付0時30分〜1時
- 楽々健康ウォーク 北薩広域公園ウォーキング大会 11月13日(日) 午前9時 風の吹くま山里山コース 11月26日(土) 午前8時 宮之城ひまわり館出発

- ### 福祉課 福祉障害係 内線2135
- 心配ごと相談所 毎週木曜日 午前10時〜正午 宮之城ひまわり館
 - お問い合わせ先 町社会福祉協議会 (52) 1123
 - 税金相談 事前に予約が必要です (事前に予約が必要です) 年金加入記録や受給手続きなどについての「移動年金相談所」を開設します。年金相談は、予約制です。年金の請求手続き及び質問や相談などがありまして、11月15日(火)までに相談者氏名・基礎年金番号・相談内容等を役場薩摩支所町民係まで申し込みください。相談には、本人確認書類(免許証等)をお持ちください。なお、代理の場合は委任状が必要です。

- ### 税務課 収納第1係 内線2113
- 9月の納税など 国民健康保険税第5期 後期高齢者医療保険料第5期 介護保険料第5期 【納期限 11月30日】
 - 年末調整や確定申告には「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」を! 国民年金保険料は、税の申告において納めた金額が社会保険料控除の対象になります。年末調整や確定申告で国民年金保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要です。そのため、国民年金保険料を納付された皆様に、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」をお送りします。年末調整や確定申告を行う時まで大切に保管してください。平成23年1月1日から9月30日までに納付された方は、平成23年11月上旬に、平成23年10月1日から12月31日までに今年初めて納付された方は、平成24年2月上旬に送付される予定です。

●年金受給者のみなさまへ 「扶養親族等申告書」は期限までに提出しましょう!

老齢や退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税の課税対象とされています。(障害年金・遺族年金は課税されません)

課税対象となる受給者の方には、毎年11月上旬までに日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、12月1日の提出期限までに必ず提出してください。

この申告により、翌年中に受けられる年金にかかる所得税の源泉徴収額が決まります。

もし提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税の源泉徴収額が多くなる場合がありますのでご注意ください。扶養親族のいない方も必ず提出してください。

なお、年金以外に収入がある方は確定申告が必要です。

平成24年分、扶養親族等申告書が送付される方は、65歳未満で年金額が108万円以上ある方と65歳以上で年金額が158万円以上ある方です。

がんばれ！スポーツ少年団 ④

結成25年の歴史！

山崎バレーボールスポーツ少年団の歴史は古く結成25年になります。団員は全て山崎小学校の児童で構成され、6年生4人、5年生2人、3年生4人、2年生4人の計14人で活動されています。

練習では「きこく」

試合は「楽しんど」欲っ

指導者の永吉和人さん(49)は、指導21年になります。永吉さんは「試合中に楽しんでプレーが出来るように、練習ではきつい思いをもちます」と指導方針を話されます。

また、「スポーツ少年団自体が『健康な身体をつくる』という目的をもっていますが、バレーボールができる環境を作ってくれる保護者やチームメイトへの感謝の気持ちを忘れないで欲しい」と話されます。

さらに「目標を達成した時の子ども達の笑顔を見ると少年団指導をやっている良かったと感じます」と魅力を話



山崎バレーボールスポーツ少年団



されます。今後は「町内のバレーボールチームが減少傾向にあります。バレーをやりたい小学生がいれば山崎小学校区以外でも入団していただき、競技人口の確保に努めたい」と抱負を話されました。

7年ぶりに優勝旗を校長室へ！

山崎バレーボールスポーツ少年団のキャプテンで、山崎小学校6年生の眞崎綾さんは「お互いに思いやりを持ち活動しています。今年の7月には7年ぶりに優勝旗を校長室に飾ることができました。6年生は残り少ない大会で出来るだけ多くの優勝旗を飾れるようにがんばります」と抱負を話してくれました。

誕生おめでとう

9月16日(10月15日届出分)(14人) 敬称略

- あかちゃん 萌保護者 公民会
- 桑波田 花 女 洋靖 愛宕
- 岸良 もも子 女 誠一郎 ホフタウン
- 宮地 秀弥 男 正人 虎居馬場
- 村岡 銀時 男 誠 角郷
- 上野 光稀 男 克弥 上向中
- 砂子田 楓 女 和宏 京塚原
- 山口 葵生 女 高生 上寺下
- 高木 美空 女 稔文 船木下
- 山本 葵 女 求磨 戸子田
- 江川 朋希 女 純次郎 京塚原
- 花田 紫音 女 智浩 諏訪下
- 崎浜 日花里 女 博之 町頭
- 江口 蒼人 男 勝浩 町頭
- 江利 美嘉 女 道太 下中福良

おくやみ申し上げます

9月16日(10月15日届出分)(29人) 敬称略

- なくなつた人 年齢 公民会
- 市園 辰磨 74 時吉新町
- 生駒クミ子 82 湯之元
- 山路シズコ 91 仕明
- 早崎 龍男 83 天神
- 久保園博子 77 船木東
- 天瀬キミ子 92 下平川
- 宇宿タマ子 79 さくら
- 楠八重トシ子 89 きらら
- 鎌田 アキ 92 虎居町
- 長谷 義信 85 あながわ
- 竹之内寅雄 87 戸子田
- 西シツカ 88 櫃ヶ迫
- 橋西 タツ 82 紫尾下
- 片野 支 75 種子田
- 前田 敦子 87 山崎上
- 宮田 ニキ 89 南川
- 永福 肇 66 荒瀬
- 池江シヅエ 98 船木西
- 帖佐 光彦 63 山崎上
- 中間シヅ子 87 上平川
- 橋口 文哉 73 湯田中
- 川添知恵子 44 ほたる

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

- なくなつた人 年齢 公民会
- 角 信子 59 轟原
- 上間 幸一 61 轟原
- 川口 市郎 60 新町
- 室屋 ヒノ 91 黒鳥
- 齊藤 勝美 75 鶴田南
- 宮路 理幸 60 古野
- 宮田 スヤ 90 きらら

パスポートの申請は役場町民課へ！

パスポートの申請・受領の窓口は役場町民課(本庁)になります。町内の方は、県のパスポート窓口を原則利用できませんのでご注意ください。

お問い合わせ先
町民課 町民係



1歳で～す
毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん
くりの なぎさ
栗野 渚ちゃん
平成22年11月1日生



父 喜さん
母 美沙紀さん
観月台 公民会
両親から一言
元気にすくすく
育ててね！

新コーナー さつま町よかところファイル No.1



久富木区「おじこ」の通学路

「おじこ」の愛称で児童から親しまれる久富木区在住の末永忍さん(81歳)は、久富木川に架かる砂浦橋から山崎小学校までのおよそ2.5kmの通学路を登校する児童と一緒に歩いています。一緒に歩くようになって今年で31年目になります。なかには、30年前に末永さんと歩いた当時の児童の子どももいます。

たすきをかけて、児童の安全を見守りながら通学路のごみ拾いもします。「おじこ」の通学路は、いつもとっても綺麗でにぎやかです。



教育委員会
総務課 総務係
島田 慎吾
教育行政に関する
担当をしています。

今月号から、役場職員の各課広報委員による「よかところファイル」コーナーを設けました。普段、見落としがちな、町の魅力ある「よかところ」を皆様に紹介していきます。

わ だ な な
和田 奈々さん

泊野小学校 6年



できることを精一杯がんばりたい！

私は将来、貧しい暮らしをしている人たちに食べ物を分けて、ともに幸せに暮らしたいです。テレビのニュースで戦争が起きた所は食べ物がなく大変だと知り、自分にも何かできることはないかと思ったからです。きっと大変で難しいことだと思うけれど、自分ができることは精一杯がんばりたいと思っています。

【ホームページ】 <http://www.satsuma-net.jp>
【メールアドレス】 so-hosei@satsuma-net.jp

休日在宅医

11 月

6日	木原医院	☎52-2700
13日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
20日	立志病院	☎55-9119
23日	鬼丸整形外科	☎56-8811
27日	相良医院	☎53-0160

12 月

4日	林田内科	☎53-1177
11日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326

休日薬局

11 月

6日	みやんじょ薬局	☎52-4650
13日	青空薬局	☎52-0101
20日	フタヤ薬局	☎59-2033
23日	ドレミ薬局	☎21-4575
27日	うさぎ薬局	☎52-4116

12 月

4日	ウチ薬局	☎53-0063
11日	青空薬局	☎52-0101

わたしたちの町

推計人口による

人口	23,805人 (- 21人)
男	10,970人 (- 1人)
女	12,835人 (- 20人)
世帯数	9,928世帯
転入	51人
転出	52人
出生	21人
死亡	41人
(平成23年10月1日現在)	
()は前月対比	

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。